

## 茨城県鹿島港洋上風力発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、株式会社ウィンド・パワー・エナジー（所在地：茨城県神栖市、代表取締役：小松崎 衛）の計画する洋上風力発電事業に 5 億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

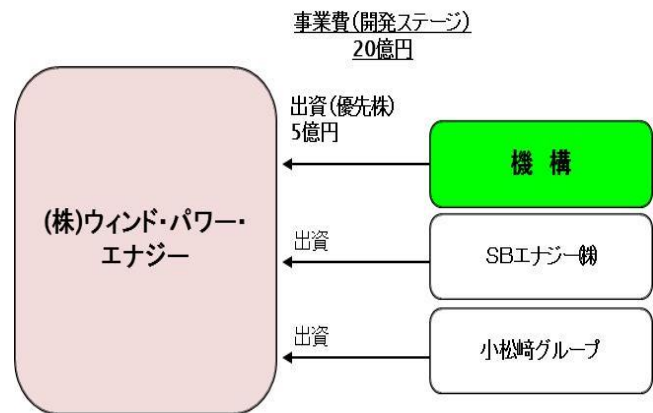
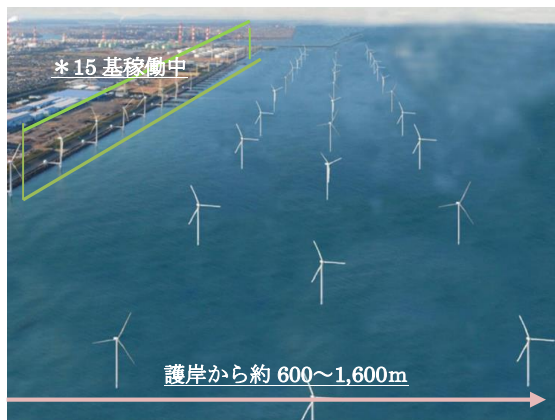
本事業は本格的商業用の洋上風力としては国内初のプロジェクトであり、当機構は開発段階から出資対応を行います。

来年度から国においても洋上風力の固定買取制度がスタートするなど、日本国内における将来の風力発電の拡大、ポテンシャルの実現のため、洋上風力発電に期待が集まっています。事業の推進においては風況が良い洋上風力発電の適地においても、事業海域の権利関係の整理や技術・コスト面の課題等があり、当機構は着工前の調査・開発段階から出資を行うことで、今後、全国で洋上風力事業を推進する為のノウハウ蓄積や情報収集が出来るものと考えています。

機構は今後も必要に応じ地域の低炭素化プロジェクトに対し、本件のように調査・開発段階からの関与・支援を行って参ります。

### 1. スキーム概要

<全体完成イメージ図>



\* 同エリアではウインドパワーかみす第1・第2洋上風力発電所が稼働中です。

(説明)

- ① (株)ウインド・パワー・エナジーは茨城県鹿島港港湾区域内で大型風力発電施設の設置計画を推進します。現在、第1期計画として風力発電設備 9 万 kW(5000kW、18 基)を導入する計画を推進中です。
- ② 本プロジェクトにおける年間発電量は 197.1 百万 kWh(一般家庭 54,750 世帯分の電力)を想定しています。
- ③ 今回、開発ステージの事業費(約 20 億円(\*1))について小松崎グループ、SB エナジー(株)、機構による出資等により、事業を推進します。今後、建設段階ではプロジェクトファイナンスによる資金調達を予定しています。

(\*1)開発ステージの業務は風況調査、事前調査、海底地盤調査、工事管理業務等です。

## 2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 本プロジェクトは国内初の本格的商業用洋上風力発電事業であり、本事業より得られる技術関連、事業関連、地域活性化関連等情報が日本型洋上風力発電技術の発展等に寄与すること。
- ② 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 130,086t-CO2/年を想定しています。）。
- ③ 茨城県や地元企業との連携により、風力発電機の部品製造や設備メンテナンスの対応を行うことで関連産業の育成や雇用の創出等、地域における経済効果が期待できること。

---

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863（事業部）ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>

---